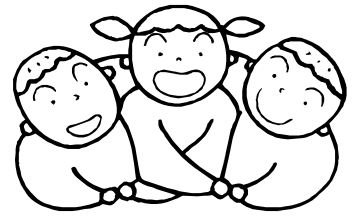


NPOトピックス

<北大教授視察・東公民館講座開講>



<北大 木村教授が赤平市公民館を視察>

公民館の管理・運営をNPOに委託している珍しいケースとして、6月9日(木)午後1時15分、北大の生涯学習計学研究部教授 木村 純まこと先生が視察に来られました。



生涯学習という考えは、あらゆる学びのことを学習者の視点に立って考える教育分野。もちろん公民館など社会教育も含まれます。木村先生からは対応した佐藤理事長らに次々と質問し、メモや写真を撮ってゆかれました。

公民館の各種事業、予算規模、市との契約、ボランティア館長、喫茶経営、公民館の専従職員、支援センターとしての事業などに興味を持たれたようです。木村先生は生涯学習や社会教育で有名な方ですから、今後各方面で赤平のことをPRして下さることでしょう。NPO法人赤平市民活動支援センターが受託している公民館の管理運営の仕事は、指定管理者制度が導入される時代になったとはいえ、一般の公共施設の委託とは違い、まだまだ珍しいことです。

私たちは、これからも公民館のことについて頭や体を使い、心をこめて打ち込んでゆきたいと思いました。尚、赤平市公民館のことは、この後に社会教育の研究大会や市町村の公民館の講座で説明発表を頼まれています。 【担当者 T】

<「東公民館」講座も企画担当>

今年度より東公民館講座の企画も、赤平市からの委託により、NPO法人赤平市民活動支援センターが行うことになりました。



「男の料理教室」では、80代の男性が初めての料理に挑戦しています。

支援センターではこれまでも「生涯学習をすすめる未来塾(代表：吉田建法さん)」と協力し、赤平市公民館の各種講座や教育講演会、チャレンジ事業等、市民の視線での新しい発想で公民館事業を展開してきました。

今回は、「男の料理教室(講師：太田瑠美子さん)」、「空手でエクササイズ(講師：島崎昭彦さん)」の2講座にたくさんの市民の皆様にご受講いただきました。

東公民館講座開講時は、赤平市公民館より職員(支援センター職員)が受け付け業務等に伺います。講座に関するご意見やご要望、ご不便な点などがございましたら、お気軽にお申し付け下さい。



目指せ!!“地産地消”

<ラビカ農園開墾日誌>

5月吉日。遅い春の訪れ!早い雑草!昨今、全国各地で「地産地消」の活字が目につきます。「喫茶ラビカ」も開店以来「地産地消ディナー」などに取り組んで来ましたが、「笛吹けど踊らず・・・」の感が有り、責任を感じる日々です。『一念発起』『初心貫徹』etc・・・

さて、去る5月22日、6人の開拓民が公民館裏の原始林?を開墾し、トマト・キュウリ・ナス・ししとう・なんばん等々植え付けました。収穫した作物は「ラビカ」で“夏野菜カレー・スープカレー・ラビカサラダ”のこれこそ地産地消ズバリのメニューとなり皆様に食して頂きたいと思っています。乞うご期待!!「小産小消」から「地産地消」へ
頑 ラビカ!
ラビカ農夫 記

